maxell

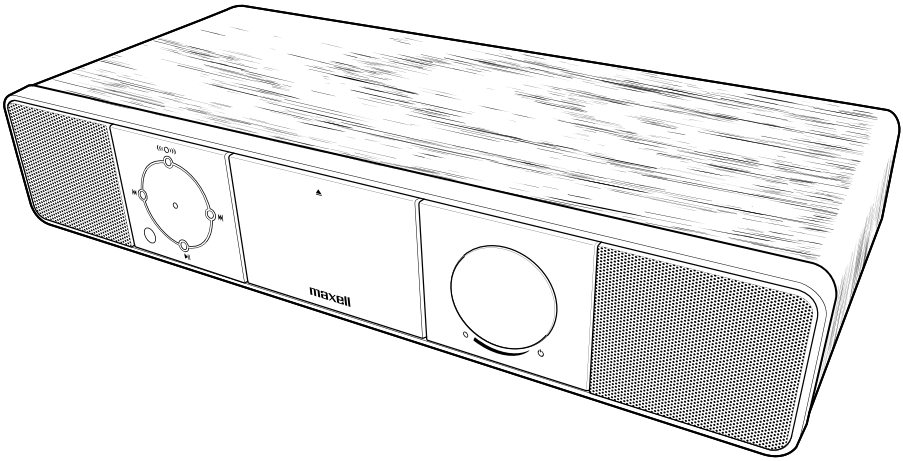
Made for iPod

iPod 対応 2.1ch デッキスピーカー

MXSP-3000

取扱説明書

Ver.1.0

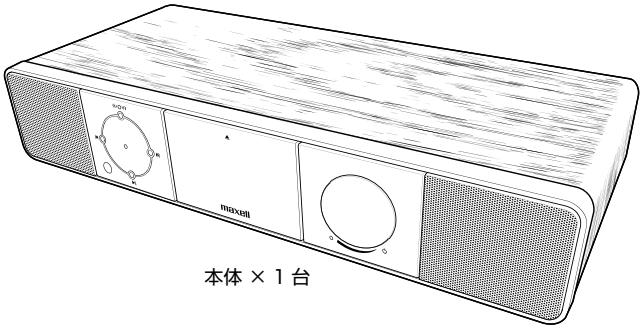


このたびはマクセル製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよく読み、製品を安全にお使いください。

目次

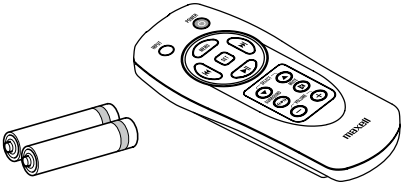
1. 梱包品の確認 …… 3
2. はじめに …… 4
3. 安全上のご注意 …… 5
4. 特長 …… 9
5. 各部の名称と機能 ……10
6. スピーカーの準備をする ……13
7. iPod で音楽を聴く ……14
8. iPod の写真や動画を見る（ビデオ出力）……15
9. iPod 以外の機器で音楽を聴く ……16
10. 故障かな？と思ったときは ……17
11. 仕様 ……18
12. アフターサービス ……19

1. 梱包品の確認

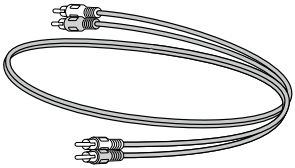


本体 × 1 台

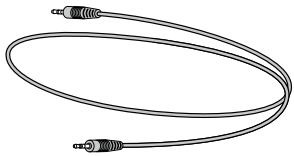
取扱説明書（保証書付き）
× 1 部



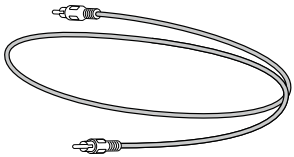
リモコン　× 1 個
（単４形マンガン乾電池× 2 個付属）



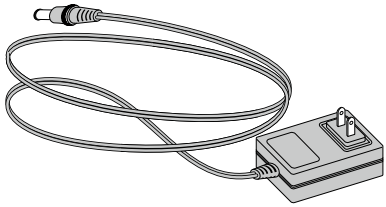
RCA ピンケーブル × 1 本
（約 120cm）



φ3.5mm ステレオミニプラグケーブル × 1 本
（約 120cm）



ビデオケーブル × 1 本
（約 120cm）



ＡＣアダプター ×1個

2. はじめに

取扱説明書をお読みになるにあたって

- この取扱説明書については、将来予告なしに変更することがあります。
- 製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- この取扱説明書につきましては、万全を尽くして製作しておりますが、万一ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- この取扱説明書の一部または全部を無断で複写することは、個人利用を除き禁止されております。また無断転載は固くお断りします。

免責事項（保証内容については保証書をご参照ください）

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 保証書に記載されている保証がすべてであり、この保証の外は、明示の保証・黙示の保証を含め、一切保証しません。
- この取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続機器との組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送用機器など人命に係わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生した場合、当社は一切責任を負いません。
- 本製品は日本国内仕様です。日本国外での使用に関し、当社は一切責任を負いません。

3. 安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお守りください。

表示の説明

⚠ 警告	「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷＊1を負う可能性があること」を示します。
⚠ 注意	「誤った取り扱いをすると人が傷害＊2を負う可能性または物的損害＊3が発生する可能性があること」を示します。

＊1：重傷とは、失明やけが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを示します。
＊2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を示します。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・愛玩動物にかかわる拡大損害を指します。

絵表示の例	△	△ 記号は製品の取り扱いにおいて、発火、破裂、高温等に対する注意を喚起するものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。
	⃠	⃠ 記号は製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。
	●	● 記号は製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。具体的な強制内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。

⚠ 警告

● **AC アダプタは付属以外のものを使用しないでください。**
火災・感電の原因となります。
禁止

● **AC アダプタをタコ足配線しないでください。**
発熱により、火災の原因となります。
禁止

● **AC アダプタを傷つけたり、重いものを載せたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、加工したりしないでください。**
AC アダプタが破損し、火災・感電の原因となります。
禁止

● **修理修理や改造、または分解しないでください。**
火災、感電、またはけがをするおそれがあります。修理や改造、分解に起因する物的損害について、当社は一切責任を負いません。また、修理や改造、分解に起因する故障に対する修理は保証期間内であっても有料となります。
禁止

● **乳幼児の手の届く所へ置かないでください。**
電池の誤飲による窒息や胃などへの障害、またコードが体に絡まることでの窒息などの原因になるおそれがあります。万一事故が発生した場合は、ただちに医師の診断を受けてください。
禁止

3. 安全上のご注意

⚠ 警告

● **雨や雪のあたるところ、水辺、風呂場など湿気の多いところでは使用しないでください。**
火災・感電の原因になるおそれがあります。

● **雷が鳴り出したら使用しないでください。**
火災・感電の原因になるおそれがあります。

● **近くに花瓶、植木鉢、コップ、薬品、化粧品、水などの入った容器を置かないでください。**
液体が中に入ると火災・感電の原因となります。

● **開口部から金属類や燃えやすいものを入れないでください。**
火災、感電、けがの原因となります。

⚠ 注意

● **不安定な場所に置かないでください。**
落下によるけがや故障の原因となることがあります。

● **持ち運びには十分に気をつけてください。**
落下によるけがや故障の原因になることがあります。持ち運ぶ際は両手でしっかりと持ち、落とさないようにしてください。

● **油煙や湯気があたる場所へ置かないでください。**
火災・事故の原因になることがあります。

● **冷気が直接吹き付けるところや極端に寒い場所に置かないでください。**
露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。

● **大音量で長時間つづけて聴かないでください。**
耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聴かないでください。聴力に悪い影響を与えることがあります。

● **音量に注意してください。**
耳を守るため、音量を上げすぎないようご注意ください。また音楽を楽しむ際は、近隣に迷惑がかからない音量でお聞きください。特に夜間は小さい音でも周囲によく通るものです。窓を閉めるなどお互いに気を配り快い生活環境を守りましょう。右記は音のエチケットシンボルマークです。

● **はじめから音量を上げすぎないでください。**
突然大きな音が出て耳をいためることがあります。操作する前に音量を絞っておいてください。

⚠注意

● **異常に温度が高くなるところへ置かないでください。**

機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になります。夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。電池が漏液する原因にもなります。

禁止

● **砂浜や砂地など砂の入りやすいところ、ほこりの多い場所では使用しないでください。**

焼損・発火や事故の原因となることがあります。

禁止

● **布や布団でおおったり、包んだりしないでください。**

熱がこもり本体が変形し、火災の原因となることがあります。

禁止

● **ブラウン管の近くに置かないでください。**

ブラウン管テレビに近づけすぎると、色むらがおきる場合があります。

注意

● **外部機器の接続には取扱説明書をよくお読みください。**

本機および、各機器の取扱説明書をよく読み、電源を切った状態で接続してください。

注意

● **AC アダプタは強く引っ張らないでください。**

故障や断線の原因となることがあります。

禁止

● **濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

● **電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。**

差し込みが不十分のまま使用すると、感電やホコリの堆積による火災の原因となるおそれがあります。

確実に差し込む

● **AC アダプタを熱器具に近づけないでください。**

コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

● **お手入れする時や長期間使用しない時は、安全のためかならず電源を切り、AC アダプタをコンセントから抜いてください。**

感電やけがの原因となります。

電源プラグを抜く

3. 安全上のご注意

電池についての安全上のご注意

発熱･発火･液漏れ･破裂･誤飲によるけがや故障を避けるため、次の事を必ずお守りください。

⚠警告	
● 電池は乳幼児の手の届く所へ置かないでください。万一電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師の診断を受けてください。	禁止
● この電池は絶対に充電しないでください。充電すると電池内の電解液が加熱され、ガスが発生し内部圧力が上昇し、電池を漏液、発熱、破裂、発火させるおそれがあります。	禁止
● 電池を火の中に入れたり、加熱、分解したりしないでください。絶縁物などを損傷させ、電池を漏液、発熱、発火させるおそれがあります。	禁止
● 電池の＋と－を逆にして使用しないでください。充電やショート状態になり異常反応を起こし、電池を漏液、発熱、発火させるおそれがあります。	禁止
● 電池の液が目に入ったときは、目に障害を与えるおそれがありますので、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、医師の診療を受けてください。	注意
● 電池の液が目に入ったときは、目に障害を与えるおそれがありますので、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、医師の診療を受けてください。	禁止
● この電池に漏液や異臭があるときは、漏れた電解液に引火するおそれがありますので、すぐに火から遠ざけてください。	強制
● 電池に直接ハンダ付けをしないでください。熱により絶縁物などを損傷させ、電池を漏液、発熱、発火させるおそれがあります。	禁止
● 電池を保管する場合および破棄する場合には、テープなどで端子部分を絶縁してください。他の電池や金属製のものと混ぜたりすると電池がショートして漏液、発熱、発火するおそれがあります。	強制
● 電池をテープなどで皮膚に固着しないでください。皮膚に障害を起こすおそれがあります。	禁止

4. 特長

● 合計 20W のデジタルアンプを搭載した 2.1ch スピーカー

出力 10W（5W+5W）のフロントスピーカーに加え、本体底面には 10W サブウーファーを搭載し、デジタルアンプ駆動によりクリアで迫力ある低音を再現します。

● 幅 430mm のデッキサイズで AV ラックに収納可能幅

430 × 高さ 90 × 奥行き 200(mm) のデッキサイズ設計。デスクトップスピーカーとしてはもちろん、ＡＶラックにも収納が可能で、置き場所の自由度をアップしました。

● iPod ビデオ出力対応

付属のビデオケーブルで、iPod に保存されたビデオ映像をテレビに出力して楽しむことができます（*対応機種のみ）。デッキサイズだから、テレビの近くに置けば配線もスッキリ。

● iPod メニュー操作が可能なマルチリモコン付属

赤外線リモコン標準装備で離れた場所からスピーカー、iPod のメニュー操作が行えます。（* Pod 操作は対応機種のみ。）

● Universal Dock アダプタ対応

Universal Dock アダプタを使用することが可能です。コネクタ部への負荷を軽減することができます。

iPod 適合機種（2009 年 6 月現在）

・iPod 第 4 世代（カラー液晶を含む）
・iPod 第 5 世代（Video）
・iPod classic
・iPod touch 第 1 世代／第 2 世代
・iPod mini
・iPod nano 第 1 世代／第 2 世代／第 3 世代／第 4 世代

* iPod shuffle はφ 3.5mm ステレオミニプラグケーブルによる接続となります。

5. 各部の名称と機能

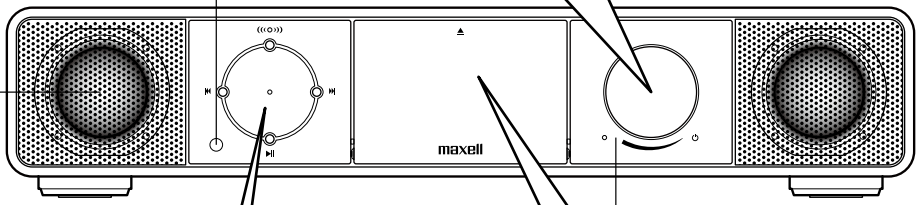
《本体正面》

リモコン受光部
リモコンからの信号を受信します。

POWER ／ボリュームボタン
押す：本体電源の ON/ スタンバイを操作します。
右に回す：音量を上げます。
左に回す：音量を下げます。

スタンバイ 〉 ON 〉

※本体 POWER ボタンがスタンバイの状態でも
リモコンで電源 ON にすることができます。



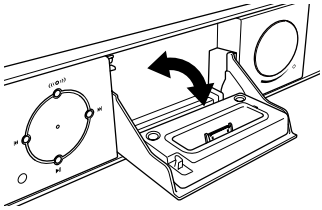
フロントスピーカー
中高音域を再生する
スピーカーユニット
です。

電源切替表示（LED）
スタンバイモード：赤
電源 ON 時：消灯

《 iPod ドック 》

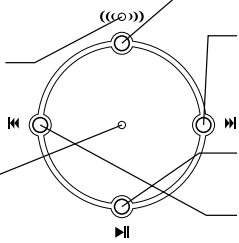
中央パネル上部を押すと、
iPod ドックが開きます。

ドックでは iPod を直接ま
たは各種 Dock アダプタを
介し接続します。



※ iPod を取り外している場合は、iPod ドックを閉じてください。
コネクタにゴミが入り故障の原因となります。
※ iPod を挿した状態で iPod ドックを無理に閉じないでください。
iPod やコネクタ故障の原因となります。

《 操作パネル 》



サウンド切替表示（LED）
サラウンド ON：白
OFF：消灯

入力切替表示（LED）
iPod：白
LINE IN ❶：青
LINE IN ❷：緑
※電源 ON で点灯します。

((●)) サウンドボタン
サラウンドON/OFFを切り替えます。

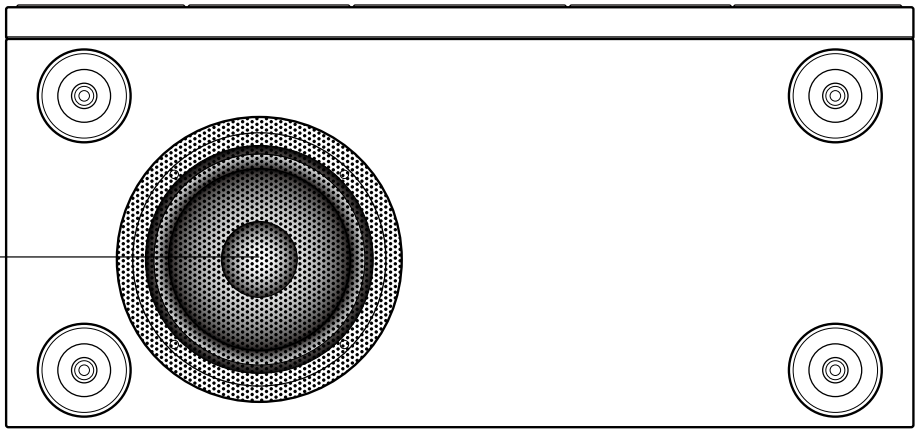
⏭ 曲送りボタン
iPod モード時に押すと次の曲にスキップします。押し続けると再生中の曲を早送りします。

▶II 再生 / 一時停止ボタン
iPod の再生 / 一時停止を行います。

⏮ 曲戻しボタン
iPod モード時に押すと曲の先頭に戻ります。押し続けると再生中の曲を早戻しします。

《本体底面》

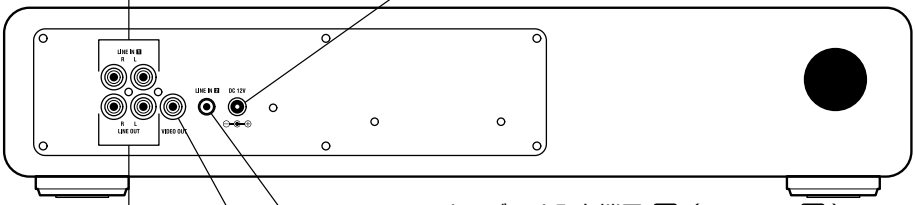
サブウーファー
低音域を再生するスピーカーユニットです。



《本体背面》

オーディオ入力端子 1（LINE IN 1）
付属の RCA ピンケーブルによりお手持ちのオーディオ機器を接続します。

AC アダプタ端子（DC IN 12V）
付属の AC アダプタを接続します。



オーディオ入力端子 2（LINE IN 2）
付属のφ3.5 ステレオミニプラグケーブルによりお手持ちのオーディオ機器を接続します。

ビデオ出力端子（VIDEO OUT）
付属のビデオケーブルによりテレビなどに接続し、iPod の画像／動画を出力します。
iPod 第 5 世代（video）
iPod classic
iPod touch 第 1 世代 / 第 2 世代
iPod nano 第 3 世代 / 第 4 世代
※「9. iPod の写真や動画を見る」参照

オーディオ出力端子（LINE OUT）
付属の RCA ピンケーブルにより外部のスピーカーやアンプなどに音声を出力します。

5. 各部の名称と機能

《リモコン》

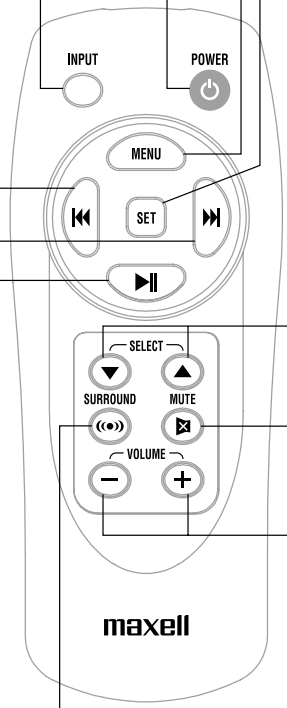
POWER 電源 ON/スタンバイボタン
本体の電源を ON、またはスタンバイモードに切り替えます。

※ 本体 POWER ボタンに関係なく、リモコンで ON/ スタンバイ切り替えができます。

INPUT オーディオ入力選択ボタン
オーディオソース入力を iPod、LINE IN 1、または LINE IN 2 に切り替えます。

MENU メニューボタン
iPod のメニュー画面を 1 つ前の状態に戻します。

SET SET ボタン
選択したミュージックメニューの内容を確定します。iPod 使用時には選択した曲・写真・ビデオを確定します。



SELECT メニュー Up/Down ボタン
▲ ▼ iPod モード時に押し続けると iPod メニューがスクロール(アップ/ダウン)します。

SURROUND サラウンドボタン
サラウンドの ON/OFF を切り替えます。

MUTE ミュートボタン
ミュート(消音)の ON/OFF を切り替えます。

VOLUME ボリュームボタン
＋ － 音量の調整を行います。

曲戻しボタン
iPod モード時に押すと曲の先頭に戻ります。押し続けると再生中の曲を早戻しします。

再生 / 一時停止ボタン
iPod の再生／一時停止を行います。

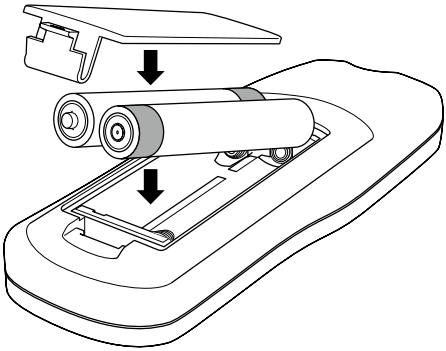
曲送りボタン
iPod モード時に押すと次の曲にスキップします。押し続けると再生中の曲を早送りします。

6. スピーカーの準備をする

1. リモコンに電池を入れる

リモコン背面のツメを押してカバーをあけ、単４形乾電池を入れます。
乾電池の向きは、リモコン内部に表示の極性（＋／－）に合わせて正しく入れてください。

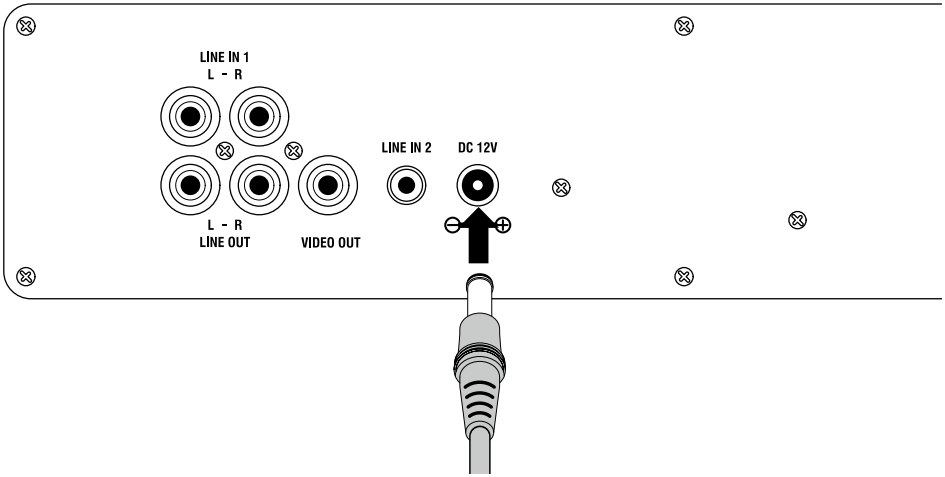
※付属の電池はお試し用の電池です。リモコンが作動しない、 または制御範囲が狭くなったら、新しい電池と交換してください。



2. ＡＣアダプタを接続する

付属 AC アダプタ DC 出力端子を本体背面の DC12V 端子に接続し、電源プラグをコンセントに差し込みます。

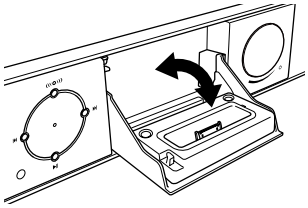
※付属の AC アダプタ意外は絶対に使用しないでください。
機器が故障し、発煙・発火に至るおそれがあります。



7. iPod で音楽を聴く

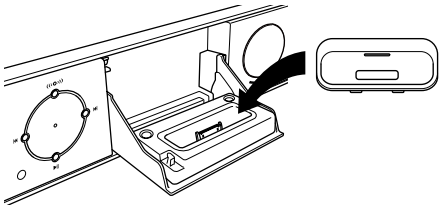
1. 本体トレイを開く

本体中央のトレイ上部を押すと、iPod 用の本体トレイが開きます。



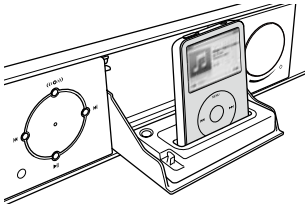
2. DOCK アダプタをセットする

本製品は、iPod に対応したユニバーサル Dock を搭載しています。お手持ちの iPod に専用の Dock アダプタが付属している場合は、コネクタの破損を防ぐために Dock アダプタの使用を推奨します。



3. iPod を接続する

お手持ちの iPod を Dock コネクタに装着します。装着すると、iPod への充電が開始され、フル充電状態まで自動的に充電されます。



※スピーカー本体の電源がスタンバイモード（電源 OFF）の場合でも充電が可能です。

※ iPod にカバーなどのアクセサリーを装着した場合には、iPod の充電・再生ができない場合があります。

4. 電源を入れる

本体の POWER ／ VOLUME ボタンを押すとボタンが出て電源が ON となります。
またはリモコンの POWER ボタンを押すと電源が ON となります。

※電源表示 LED は、スタンバイモードでは赤色、電源が ON となると消灯します。

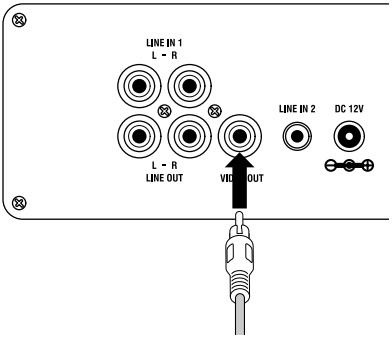
5. iPod の音楽を聴く

1. リモコン左上の INPUT ボタンを押して、入力を iPod に設定します。
   iPod を設定すると、入力表示 LED が白色となります。
2. ｉＰｏｄのメニュー操作「ミュージック」を選択し、リモコンの MENU ボタンと SELECT の▲▼ボタンで iPod 内の「アーティスト」「アルバム」などの項目をスクロールします。
3. SET ボタンを押して、選んだ曲目を確定します。
4. 曲目を選び SET ボタンまたは ▶II ボタンを押すと、iPod の再生ができます。本体の VOLUME ボタンまたは、リモコンの VOLUME － ＋ ボタンで音量を調整してください。
   SURROUND ボタンを押すとサラウンド機能が働き、広がりのある音をお楽しみいただけます。

8. iPodの写真や動画を見る（ビデオ出力）

1. ビデオケーブルを接続する

付属のビデオケーブルを使用して、本体背面のビデオ出力端子（VIDEO OUT）とお手持ちのテレビなどのビデオ入力端子を接続します。



2. テレビなどの外部入力を選択する

テレビなどの電源を入れ、接続した外部入力を選択します。

3. 写真を見る

iPod のメニュー操作で「写真」を選択し、iPod 本体またはリモコンの SET ボタンで再生します。
（iPod の TV 出力設定を「オン」にしてください。）

4. 動画を見る

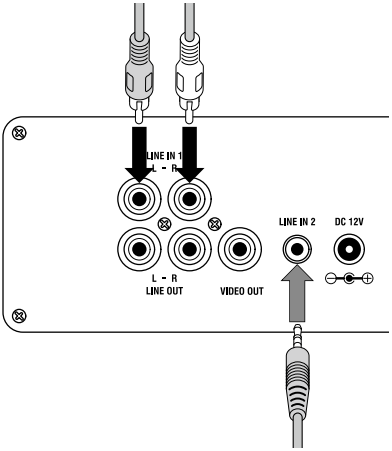
iPod のメニュー操作で「ビデオ」を選択し、iPod 本体またはリモコンの SET ボタンで再生します。
（iPod の TV 出力設定を「オン」にしてください。）

※本製品では、写真のサムネイルプレビューはできません。
※動画の再生中に、スピーカー本体の電源を切らないでください。
　再生映像が一時停止状態となり、画面に出力されたままになることがあります。
　かならず動画再生を停止してから、スピーカー本体の電源を切るようにしてください。

9. iPod 以外の機器で音楽を聴く

1. オーディオケーブルを接続する

接続前に外部入力機器の音量を下げてあることを確認してください。
付属のＲＣＡピンケーブルまたは、φ3.5mm ミニプラグケーブルをお手持ちの機器の出力端子に合わせて選択し、お手持ちの機器の出力端子と本体背面の入力端子を接続します。



2. 入力を選択する

リモコンの INPUT ボタンを押して、入力を選択します。
RCA ピンケーブルに接続した場合 LINE IN 1 入力表示 LED：青色
φ3.5mm ミニプラグケーブルに接続した場合 LINE IN 2 入力表示 LED：緑色

3. 音楽を再生する

接続した機器を操作し、音楽を再生します。
外部入力機器の音量を調整してください。
本体のボリュームつまみまたは、VOLUME の － ＋ ボタンでスピーカーの音量を調整してください。

※接続する機器側の音量を大きく設定するとノイズの少ない高音質でお楽しみいただけます。ただし音量を大きくしすぎると、音が割れたりひずんだりすることがありますので、小さい音量から調整してください。
※▶II 、⏮ ⏭ 、SELECT（▲ / ▼）、MENU ボタンは、iPod 専用の操作ボタンです。
iPod コネクタで接続された iPod 以外の外部入力機器では機能しません。

10. 故障かな？と思ったときは

「故障かな？」と思ったときは、ただちに使用を中断し、下の表にしたがってチェックしてください。問題が解決しない場合は、お買い上げ販売店または当社「お客様ご相談センター」にご連絡ください。

症 状	考えられる原因	対 策
電源が入らない	・AC アダプタが正しく接続されていない。	・本体背面の接続端子およびコンセントをチェックしてください。（13 ページ）
iPod が Dock コネクタに合わない	・iPodDock アダプタを使用していない、あるいは間違っている。	・お手持ちの iPod に合った Dock アダプタかチェックし、正しい Dock アダプタを使用してください。
	・Dock コネクタに異物がある。	・iPod をドックからはずし、Dock コネクタ部に異物がないかチェックした上、再度入れ直してみてください。
音が出ない	・iPod が正しくセットされていない。	・iPod が正しく Dock コネクタに差し込まているか、確認してください。（14 ページ）
	・iPod が再生状態になっていない。	・音楽トラックが再生されているか確認してください。
	・iPod を急にはずしたか、差し込んだ。	・iPod をドックからはずし、5 秒待ってから、ドックに戻してみてください。また電源プラグを外して、1 分後に入れ直し、スピーカー本体をリセットしてみてください。
	・音量レベルが低すぎる。	・本体またリモコンの VOLUME ボタンを押して音量を調整してみてください。
	・入力ソースの選択が間違っている。	・リモコンの INPUT ボタンを押して、正しい入力ソースに変更してください。（10 ページ）
リモコンが正常に働かない	・iPod が正しくドックに入っていない。	・iPod をドックからはずし、しばらく待ってから入れ直してみてください。
	・リモコンが本体の受光部に向いていない。 障害物がある。 レンズがよごれている。	・リモコンを別の場所から操作してみてください。強い光や部屋の状態などにより受信不良となることがあります。リモコンと本体の間に障害物がないか確認してください。リモコン前部の小さなレンズについたよごれを拭き取ってみてください。
	・電池が正しくセットされていない。 電池が弱くなっている。	・リモコンの電池の向きを確認してください。新しい電池に交換してください。（13 ページ）
音がひずむ	・音量レベルが高すぎる。	・VOLUME ボタンで音量を下げてみてください。
	・音源自体がひずんでいる。	・別の音源を試してみてください。
iPod の映像がテレビに映らない。	・ビデオケーブルが正しく接続されていない。	・スピーカー本体背面のビデオ出力端子（VIDEO OUT）と、テレビのビデオ入力端子の接続を確認してください。（15 ページ）

11. 仕様

製品仕様

品名	iPod 対応 2.1ch デッキスピーカー
型番	MXSP-3000
実用最大出力	5W+5W（左右）　10W（サブウーファー）
再生周波数特性	50Hz ～ 20kHz
スピーカーユニット	メインスピーカー：φ50mm コーン型 × 2 サブウーファー：φ100mm コーン型
入力端子	iPod コネクタ オーディオ入力：ステレオ RCA ジャック ：φ3.5mm ステレオミニジャッ
出力端子	ビデオ出力：RCA ジャック オーディオ出力：ステレオ RCA ジャック
AC アダプタ	入力：AC100V、50/60Hz
	出力：DC12V/2A
外形寸法	430（幅）× 90（高さ）× 200（奥行き）mm（突起部含まず）
質量	約 3.2kg (本体のみ)
付属品	AC アダプタ 赤外線リモコン（単４形乾電池× ２本） φ3.5mm ステレオミニプラグケーブル（約 120cm） ビデオケーブル（約 120cm） RCA ピンケーブル（約 120cm） 取扱説明書（保証書付き）

●記載の内容は２００９年６月現在のものです。

● iPod® は米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。

●その他記載されている名称、商標、ロゴ、サービスマークは、マクセルまたは他社の登録商標です。

●製品仕様および外観は、予告なく変更される場合があります。

12. アフターサービス

■本製品に関するお問い合わせ先

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

日立マクセル株式会社
〒102-8521
東京都千代田区飯田橋2-18-2

お客様ご相談センター
TEL. (03) 5213-3525
FAX. (03) 3515-8261

http://www.maxell.co.jp